

二二二が聞きたい

芳滝 仁 議員

今後の常設保育所の運営のあり方について

様化する保育ニーズに対応するために具体的に保育所民営化推進のための組織を設置し民営化推進プランを策定していくべきだと思っております。

**問** 昨年3月町議会定例会において、常設保育所の民営化について質問をした。町長は今後検討すべき課題として他町村の事例や在職保育士の状況等を含めた中で考えていくと答弁した。帯広市、音更町、芽室町では、具体的な形で民営化に取り組んでおり、特に音更町では7カ所の保育所の内、平成15年に木野保育所が民営化され、鈴蘭保育所は平成19年に民設で新築される。芽室町では市街地にある2保育所とも民営化することを本年5月に決定し、一カ所は公設民営、一カ所は平成19年に民設で新築する方向である。

①幕別町においてもそろそろ、財政的負担の軽減や多

については、十勝管内他市町村をはじめ、道内外の事例を調査し、検討している。

②平成19年に北栄町に新築を予定している札内さかえ保育所について、公設の保育所の場合、国からの補助金が本年より無くなり町の財政的負担がかなり大きくなる。民設の場合は補助金が建築についても運営についても国から支出されるので、音更町、芽室町と同様に民設で新築すべきだと思

うかどうか。

③在職保育士については、芽室町と同じように常設保育所を民営化すれば職員に

ついては町のへき地保育所に配置転換し、失職する臨時職員等については民設保育所で雇用していただくという方法も可能だと思っております。

④町長

①保育所の民営化

②さかえ保育所について

③今いる保育士をへき地保

所へ配置転換するのは、

果たして財政的なメリット

という意味ではどうなのか。あるいは、保育士協会に派遣し正職の扱いには考

は、「民設民営化」や「業務委託方式」あるいは「指定管理者制度」などの手法が考えられ、十勝管内においても、指定管理者制度により実施している帯広市や、業務委託方式により実施している音更町の例がある。

いずれの手法においてもそれぞれメリット、デメリットがあるが、施設の経過年数や手続き方法など、それぞれの市町村の状況によって選択している手法が異なる。

本町においては、行政改革大綱推進計画に基づき、事務事業の見直しを進める中で、各種業務の民間活力導入を進めることとしている。

本年5月には、平成18年度から平成22年度を計画期間とする「第3次行政改革大綱及び推進計画」作成のための庁内組織である「幕別町行革推進本部」を設

けたが、

したがって、民営

で設置することは、

今の段階では難しい。

ただ、前段、お

答

えした通り、その公

については、前段申し上げたとおりである。今後の検討の中で、当然考えていく問題だと思っております。

さかえ保育所については、北栄土地画整理事業の実施にあわせて移転新築するべく、昨年12月の定例会にお

いて、基本設計委託料を提案し、承認をいただき、本年度に入り、その基本設計により、道と施設整備交付金や起債などの協議を行って

いる。

さかえ保育所について

北栄土地画整理事業

移転新築するべく、昨

年12月の定例会にお

いて、基本設計委託

料を提案し、承認を

いただき、本年度に



建替えを予定している札内さかえ保育所